

第379回三木市議会定例会 市長 開会あいさつ

令和6年2月22日

議会の開会に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、第379回市議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆さまにおかれましては、公私ご多用の中ご出席を賜り、誠にありがとうございます。

平素から市政の運営につきまして、格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。

本年1月1日、最大震度7の能登半島地震が発生し、広域にわたり甚大な被害が生じています。この災害によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。

三木市では、被災地の一刻も早い再建と復興を願い、支援を行っています。関西広域連合及び国の要請に基づき、職員派遣を行っており、1月15日から2月21日まで延べ22名の消防職員を輪島市及び能登町に派遣し、災害現場の捜索及び後方支援に従事しました。また、1月には家屋被害認定支援に従事する職員2名を、1月及び今月には避難所運営支援に従事する

職員4名を珠洲市に派遣しました。今後も要請に基づき、職員の派遣を行ってまいります。人的支援のほか、住宅に困窮されている被災者を対象に、広域避難の一時受け入れ先として市営住宅4戸を提供しています。

市では、義援金の受付を行っています。市役所、吉川支所、市立公民館などに募金箱を設置しておりますので、市民の皆さまの温かいご支援をよろしくお願いいたします。

今後も、被災地に対して息の長い支援を継続する必要があるため、引き続きできる限りの支援を行ってまいります。

さて、学校再編により閉校になった学校につきましては、地域にとって思い入れのある施設であることから、地域の意見を聞きながら、廃校利活用の検討を進めてまいりました。

吉川地域では民間活力を活用した利活用を進めています。旧中吉川小学校は、昨年10月25日に株式会社ハヤブサと賃貸借契約を締結し、旧上吉川小学校は、来月下旬に株式会社shoichiと賃貸借契約を締結する予定です。

旧志染中学校及び旧星陽中学校は、地域住民による廃校利活用の意向があり、地域の利活用案の実現に向けた取組を進めています。旧志染中学校については、市街化調整区域にあることから、県の開発審査会に諮り、地域の利活用案に係る用途変更

の許可が得られたところです。引き続き、地域の利活用案の実施に向け、地域及び県との調整を進めてまいります。

このたびの市議会定例会は、令和6年度の各会計予算をはじめとする案件についてご審議をいただき、極めて重要な議会であり、専決処分の報告1件、条例関係18件、新年度予算7件、令和5年度補正予算5件、その他4件の、併せて35件の提案を予定いたしております。

また、現在、国会審議中の法令改正の成立により、条例関係3件並びに人事案件1件、併せて4件を追加提案する予定といたしております。

新年度予算をはじめ、私の市政に対する思いは、後の施政方針で述べさせていただきます。

議員の皆さまにおかれましては、どうか慎重なるご審議をいただき、適切なるご決定を賜りますようお願いを申し上げ、開会のあいさつといたします。